

集落排水高度処理 システムを開発

小松電機産業

小松電機産業（本社・島根県八束郡八雲村、資本金一億円、小松昭夫社長）は五日、汚水処理で窒素やリンの高度処理ができる新しい集落排水自動制御監視システム「ニューやくも水神」写真を開発した、と発表しました。

この開発で、同社は、汚



水処理の方法として「回分処理」という方式を採用。さらに最新のコンピュータ機器やソフトを利用することで、活性汚泥処理の自動制御を可能にした、という。

これにより、汚水処理施設で、微生物の働きを左右する空気の量を自動的に制御し、汚水の高度処理（脱リン、脱窒素）を実現。湖などの富栄養化の要因となる有機物の除去率は、窒素九〇%、リン七〇%に達するという。

システムは、高度処理の自動化や施設の無人化、運転力の省力化を図る「自動制御水処理」をはじめ、「情報処理」「遠隔監視」などの各システムで構成。電気料金の節約もできる、としている。

融資金額は五十万円以上五千万円以内で返済は三十五年以内。現水準での新規貸出金利は年四・〇〇%。